



3. 水辺空間

水辺空間を構成する重要な要素（護岸やプロムナード、親水広場など）に分類し、水辺の持つ快適性や潤いを感じる水辺景観の観点から配慮すべき事項の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

良好な水辺景観を形成するため下記の事項に配慮し、水辺の快適性や潤いの富んだデザインを心がけることが重要です。

【良好な水辺景観を形成するための事項】

(1) 自然度の高い水辺空間づくり

- ①残存する河川林、自然海岸や海岸林の保全に努めましょう。
- ②水辺空間に生息する動植物の生活の場としての環境づくりに配慮しましょう。
- ③護岸などの構造物については、極力自然素材を活用しましょう。
- ④コンクリート構造物は、周辺の自然景観との調和に配慮し、風景の一部として違和感ないデザインとなるよう努めましょう。
- ⑤河川林や海岸林などの緑化に努めると共に、できる限り連続させ、豊かな緑ある空間を創出しましょう。
- ⑥沖縄の風土特性に配慮した『「亜熱帯庭園都市」なは』のイメージを演出する植栽に努めましょう。

対象項目

- 3-1 護岸
- 3-3 親水広場
- 3-4 多自然川づくり
- 3-6 海岸
- 3-7 遊水地

(2) 親水性の高い水辺空間づくり

- ①親水活動のレベルに合った断面形態に努めましょう。
- ②可能な限り連続性ある遊歩道や散策路を整備し、周遊性を高めましょう。
- ③遊歩道や散策路は緑豊かな空間とし、心地良い歩行空間の創出に努めましょう。
- ④水面を眺められる施設デザインとなるよう工夫を図りましょう。
- ⑤適所に水とふれあえる憩いの場を設けましょう。
- ⑥安全性に配慮した親水施設としましょう。

対象項目

- 3-2 プロムナード
- 3-3 親水広場
- 3-5 付帯施設
- 3-6 海岸

(3) 周辺施設と一体となった水辺空間の形成

- ①隣接する公園や広場などの公共施設と一体的な整備に努めましょう。
- ②石橋など歴史・文化的な構造物については、保存と活用を図りましょう。
- ③歴史的な景観地域における水辺空間では、風土性や歴史性を感じるデザインに配慮しましょう。

対象項目

- 3-1 護岸
- 3-5 付帯施設

3-1 護岸

デザインのPoint

- ◆ 護岸の構造は、可能な限り空石積みとするなど、生物の生息空間の創出に配慮しましょう。
- ◆ 護岸の素材は、可能な限り自然石を活用し、周辺景観に馴染ませましょう。
- ◆ コンクリート構造物の場合、化粧型枠などを活用した表面処理(はつり風、割肌風、スリット、リブなど)を施し、凹凸や陰影、ざらざらした質感を形成することで、人工的でのっぺりとした印象を軽減できます。

自然素材を活用した護岸



琉球石灰岩を活用した護岸【南風原町：国場川】



琉球石灰岩を活用した護岸【那覇市：安里川】

緑化に配慮した護岸



陸部は自然素材の護岸とし、河川部には緑化の護岸を形成することで、良好な河川景観を形成している事例【沖縄市：比謝川】



護岸部を緑化し高木を植栽することで良好な河川景観に配慮した事例【那覇市：さいおんスクエア・安里川】



護岸部を緑化することで、潤いある河川景観を演出している事例【南風原町：国場川】

<第17回 那覇市都市景観賞>



3-2 プロムナード

デザインの Point

- ◆ 水辺の道は河川の親水空間として最も重要な要素であることから、積極的な整備に努めましょう。
- ◆ 水辺の道の幅員に余裕がない場合は、河道内にデッキなどを整備することにより歩行空間のネットワークを図ることができます。
- ◆ 水辺の道の要所に河川景観を楽しむ水辺の休息空間を設けましょう。
- ◆ 水辺の道をできるだけ水辺空間に近づけることで、潤いと安らぎを感じることができます。
- ◆ 水辺の道に高木や花木などを植栽することで緑陰を創出し、心地よさを感じる歩行空間を創出できます。
- ◆ 親水空間を緑化することで、活力ある水辺景観を創出することができます。

水辺の道



住宅地の間を流れる雨水路に遊歩道を設けて親しみと潤いのある水辺空間を創出している事例

【那覇市：小禄南の雨水路】



舗装面に琉球石灰岩を活用し、良好な景観を創出している事例

【那覇市：カフーナ旭橋・久茂地川】



水辺の道をウッドデッキで整備することで、周辺の緑化と一体的な空間を創出している事例【豊見城市：漫湖水鳥・湿地センター】

水辺にふれあえる空間



水辺にふれあえる空間
【沖縄市：比謝川】



水辺とその周辺の緑にふれあえる空間
【豊見城市：漫湖水鳥・湿地センター】

植栽空間



水辺の道に花木を植栽することで、心地よさを感じる歩行空間を創出した事例【東京都：落合川】



水辺の道に高木を植栽し緑陰を創出している事例
【南風原町：国場川】

親水空間への緑化の創出



親水空間に緑陰を創出することで、心地よい水辺空間を創出した事例
【東京都江戸川区：一之江境川親水公園】



親水空間に緑陰を創出することで、心地よい水辺空間を創出した事例
【東京都江戸川区：一之江境川親水公園】

3-3 親水広場

デザインの Point

- ◆ 河川空間に親水広場を設けることで、人々が滞留し、休憩する場として水辺景観を楽しむことができます。
- ◆ 河川の合流部や分流部は河川の視点場となり得る場所であることから、休憩広場など水辺に触れることのできる空間としましょう。

水とふれあえる親水空間



水と直接ふれあうことのできる親水広場
【那覇市：さいおんスクエア・安里川】
<第17回 那覇市都市景観賞>



親水広場にオープンスペースを設けることで、人々が集いやすい空間を創出した事例【那覇市：さいおんスクエア・安里川】
<第17回 那覇市都市景観賞>

河川合流部や分流部の空間



河川合流部に休憩広場を設けた事例。水辺にふれあえる場として整備した事例【南風原町：国場川】



河川分流部を活用した公園
【那覇市：前島南公園】

3-4 多自然川づくり

デザインのPoint

- ◆ 河床部については、自然そのままの河床が望ましいが、コンクリート等を活用する際には、直接むき出しにせず自然素材の活用に努めましょう。
- ◆ 護岸や河床部には動植物が生息しやすい環境整備に配慮しましょう。
- ◆ 河床部に大きな落差が生じる場合には、魚道を整備し魚がのぼりやすい川づくりに配慮しましょう。
- ◆ 多自然川づくり※により水辺の魅力を高めることはできますが、安全性への配慮も重要となります。
- ◆ 公園を隣接させ一体的に整備することで、河川の自然空間と公園の魅力の相乗効果が高まります。

※「多自然川づくり」：河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うことをいう。

動植物への配慮



河川内の一部を緑化することで、動植物が生息しやすい環境となっている事例【東京都：落合川】



河床部を石詰めにする事で動植物が生息しやすい環境となっている事例【東京都：南沢水辺公園】

魚道



緩やかな落差工を設け、周辺の景観に配慮し自然石を活用した魚道の事例【東京都：落合川】



落差工を数段に分けて設け、その周りを自然石で周辺の景観に配慮した魚道の事例【南風原町：国場川】

安全性への配慮



一部柵を設けない場合は看板等での注意喚起を行うこととしましょう
【南風原町：国場川】



植栽による柵を設けることで周辺の景観にも配慮している事例
【富山県：稲荷公園】

公園や緑地と一体となった河川空間



公園の側を河川が通っており、水辺空間と公園の持つ自然空間が一体となって良好な潤いを感じる空間を形成している事例
【那覇市：奥武山公園】



緩やかな傾斜の護岸の背後部を公園と一体化させ、河川の自然空間と公園の魅力を合わせた事例【国頭村：奥川】



河川と公園を一体的に整備した事例
【富山県：京坪川河川公園】

3-5 付帯施設

デザインのPoint

- ◆ 目立たず周辺景観と調和し、風景の一部として違和感ないデザインとすることを基本とします。
- ◆ 転落防止柵などの安全施設は、景観と安全性の両立を図ったデザインとしましょう。
- ◆ 転落防止柵は、水面への眺望に配慮し、透過性に優れた形状を基本とし、シンプルな形状や色、存在感低減などに配慮したデザインとしましょう。また、連続する区間や範囲、異なる構造種別で、デザイン(形状、色彩など)の統一感を持たせましょう。
- ◆ 景観に優れた他施設(転落防止柵の代わりとしての縁石や植栽帯)による代替策も含めた必要性も検討しましょう。
- ◆ 歩行者が直接触れることを勘案し、ボルト等の突起物、部材の継ぎ目等で危害を及ぼすことのない形状、肌触り感の向上など、人との親和性に配慮しましょう。
- ◆ ボラードやベンチは、周辺景観との調和を図り、シンプルな形状で落ち着きを感じさせる色や素材に配慮しましょう。

景観に配慮した付帯施設のデザイン



ビーム状の防護柵とし、透過性に配慮した事例
【北谷町：フィッシャリーナ】



支柱を周辺の素材と調和させ、防護柵に鎖を活用することで、透過性に配慮した事例【那覇市：さいおんスクエア・安里川】



周辺の素材と調和させ、擁壁部と一体的に整備したベンチ
【那覇市：カーナ旭橋】



周辺の素材と調和させた階段とベンチを一体的に整備した事例
【北谷町：フィッシャリーナ】



構造物と緑化による転落防止柵
【福岡県：清流公園・那珂川】



防護柵を護岸の上部に設けず、緑化した護岸の下部に配置した事例
【那覇市：さいおんスクエア・安里川】



防護柵と同様のデザインとした車両進入禁止のサイン
【那覇市：さいおんスクエア・安里川】



周辺の素材と調和させた車止め
【那覇市：さいおんスクエア・安里川】

公共コラム

防護柵の維持管理



防護柵は歩行者や自転車、車両の転落を防ぐため重要な施設となっています。

景観に配慮するため、木材を活用する事例も見られますが、雨風により腐敗する事例も見られます。

そのため、防護柵に木材を活用する際には、日常の点検や維持管理に十分留意しましょう。

さらに、防護柵のみならず、木材を活用する施設等についても、日常の点検や維持管理に十分留意しましょう。



腐敗により、破損が見られる防護柵
【那覇市内】

3-6 海岸

デザインのPoint

- ◆ 海岸沿いの護岸は緩勾配とし、親水性豊かな護岸形態としましょう。
- ◆ 海岸線の背後にはオープンスペースを設け、緑地帯を形成するなど、豊かな緑化景観に配慮しましょう。
- ◆ 遊歩道やオープンスペースなどを設け、利用する方が楽しめる空間づくりに配慮しましょう。
- ◆ 海岸周辺一帯を緑化することで、緑豊かな潤いある景観を形成することができます。

海岸沿いの緑化



緩やかな勾配の護岸とし、その背後に緑地とオープンスペースを設けた事例【豊見城市：豊崎海浜公園】



背後地には公園が隣接し、海浜まで賑わいが連続するような空間を創出している事例【宜野湾市：トロピカルビーチ】

海岸沿いの遊歩道



海岸沿いに遊歩道やオープンスペースを設け、利用する方が楽しめる歩行空間を形成した事例【糸満市：南浜公園】



海岸沿いに遊歩道を設け、利用する方が海を眺めながら楽しめる歩行空間を形成した事例【那覇市：三重城ふるさと海岸】

海岸周辺の緑化



港湾内に置かれているコンテナは道路側から見ると景観阻害の要因となります。そのため、道路沿いを高木や植栽等で目隠しすることで道路沿いの良好な景観を形成することができます。左【那覇市：那覇港那覇ふ頭地区】 右【那覇市：那覇港新港ふ頭地区】

親水性に配慮したスロープ及び緩傾斜型護岸



水域に対してスロープ等を一部に設置することで、水辺にふれあえる場を創出している事例
【北谷町：宮城海岸】



水域に対してスロープ等を一部に設置することで、水辺にふれあえる場を創出している事例【北谷町：宮城海岸】



緩やかな勾配の護岸に石材を使用することで、自然景観との馴染みを配慮した事例【北谷町：宮城海岸】

3-7 遊水地

デザインのPoint

- ◆ 治水機能を確保した上で、人工構造物の設置は必要最小限とし、できる限り緑地スペースを設け、市街地の中の潤いと安らぎを与える空間として、緑のオープンスペースを創出しましょう。
- ◆ まとまったオープンスペースを確保することで、スポーツや各種イベントなど多目的に活用できる空間として、地域への貢献も図られます。
- ◆ 人工構造物は、景観と機能性の両立を図ったデザインとしましょう。
- ◆ コンクリート構造物の場合、化粧型枠などを活用した表面処理(はつり風、割肌風、スリット、リブなど)を施し、凹凸や陰影、ざらざらした質感を形成することで、人工的でのっぺりとした印象を軽減できます。

オープンスペースの創出・活用



緑のオープンスペースを設け、多目的に有効利用を図っている事例
【那覇市：真嘉比遊水地】



緑地の中に水辺空間を形成し、水辺で遊べる空間を形成した事例
【那覇市：真嘉比遊水地】

構造物のデザイン



周辺の歴史性に配慮し、城壁をモチーフとした法面
【那覇市：金城ダム】



周辺の景観と調和させた琉球石灰岩の構造物
【那覇市：金城ダム】
<第12回 那覇市都市景観賞>